

ここ沖縄も少し肌寒くなる日が多くなってきましたね。子ども達は、毎日の気温の変化と共にファッションを楽しんでいるようです。

今月は、環境認識の課業内容の中で、自然、社会の両面から取り入れ内容盛りだくさんでした。

また、キリスト教短期大学から実習生大城 明鐘さんが、6日間ゆうくんチームに入りいました。

明鐘さんが、「担任以外の大人の話も聞いてくれた子ども達に驚きました。」と言うお話されていました。その言葉に、私たち担任もとてもうれしく思いました。

実習生だからと言って遊び半分になる子ども達ではなく、一人の大人として、保育士としてかかわってくれた子ども達の成長に喜びと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

子ども達は日々成長しており、成長しているからこそ、良い姿や、時には、大人を困らせる姿もあります。やっていいこと、よくない事、解っているものの、お友達とやっていけないことをしながら確認していく時期です。

今はその姿と向き合いながら、子ども達と一緒にあって、話し合いを多く持っていきたいと思います。



勤労感謝の日になんでお仕事についての課業を行いました。始めにお家でのお父さんやお母さんのお仕事、そして子ども達のお仕事はどんな事があるのか発表してもらい、その後はいろんな仕事の絵カードを使って分類を行いました。

お金を使うのはレジの人だよね～。パンはパン屋さんにあるけど、スーパーにも売ってるよ。など話し合っている子ども達。



お医者さんの使う道具の中に、郵便屋さんが使うはずのお手紙が混ざっています。医者さんはお手紙も使うのー？と尋ねてみると、そうだよ、だってお薬の説明が書かれているんだよ。という返事が！確かに薬局ではそのようなやり取りがあるなあと納得しました。子ども達ってよく見えますよね。

大人のマネをして課業の内容を遊びの中に取り入れている子ども達。
「宅配員のお仕事はなんですかー？手を上げて答えてね～」
「遠くの物を届ける人！」
「お父さんお母さんが本を買ったときに届けてくれるんだよ～」



保育士になりきる



石川丘の散策です
トトロが出てきそうな雰囲気でした。

ここはまだセミが鳴いてるね～
自然観察しながらいろんな声がきかれました。



百ぐみさんが生活発表会に向けての話し合いを行っています。遊びの中から始まった人形劇をきっかけに、劇を自分たちで作り上げていくことに。いろいろなお話の本が出てきました。3びきのこぶた、うらしまたろう、さるかにのお話。一つに絞られ、3びきのこぶたに決定しました。役割の見直し、道具を考えたり、シンドバッドの冒険の劇を見て、ダンスが出てくるのでしょうか？これからの子ども達の劇作りの展開が楽しみです。

12月のねらい

- ◎冬の健康に留意して、一人一人の興味や関心を理解し、自分なりに力を発揮できるようにする。
- ・ 思ったことや感じた事などを伝え合い、友達と共通の目的を持って遊びを楽しむ
- ・ 冬の自然、地域や家庭の行事を楽しんだり、年末の様子に関心を持つ。



木の実をたくさん拾った後は待ちに待ったお弁当タイム！自然に囲まれながら食べるお弁当はおいしい～。



取ってきた松ぼっくりになどの木の実は、クリスマスオーナメント作り楽しんでいます。

- 12月の予定
- 15日 (金) ムーチーづくり
 - 22日 (金) クリスマス会
 - 28日 (木) 保育納め

- 保育内容
- ・ 季節の素材を利用し、お友達と手仕事を楽しむ
 - ・ 劇作りを通して、異年齢のかかわりや自分の意見を主張し、お友達の意見を尊重しながら劇作りに取り組む。
 - ・ 地域、家庭の行事や、年末年始に向けての取り組みに興味関心を持って楽しみながら取り組む。